

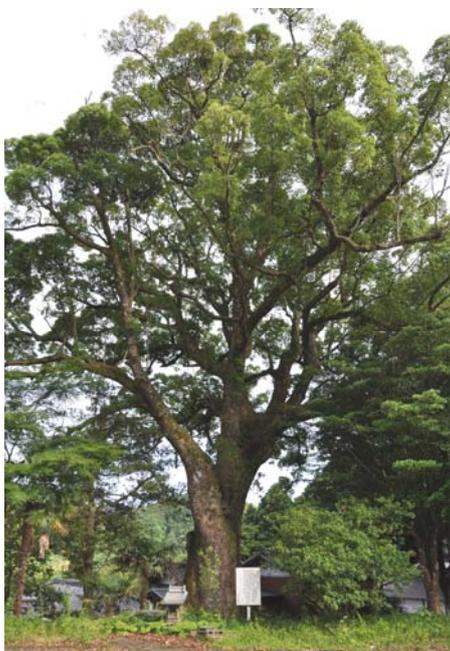
勝浦の巨木と自然林



高照寺の乳イチョウ 所在地：勝浦・上本町



八坂神社の自然林 所在地：鶴原



真福寺の大クス：市野郷



慈眼寺の大カヤ：植野



天満宮の大スギ：大楠



上野村寂光寺の大椎 所在地：名木



人と比べると大椎の大きさが分かる

高照寺の大公孫樹と寂光寺の大椎は勝浦を代表する巨木で、ともに県指定の天然記念物である。大公孫樹は、昭和初期に牧野富太郎博士が高照寺を訪れ「千年の年輪を数えるか」といわしめ、また我が国天然記念物の貢献者、三好學博士も乳頭の多いことを称えている。大椎はシイノキ属のスタジイで日本で3番目に大きいシイノキである。八坂神社の自然林も県指定の天然記念物であり、信仰の森として大切に保護されたもので、八幡岬（勝浦市）の自然林とともに千葉県の高貴な自然林である。真福寺の大クス（クスノキ）は日蓮上人の直弟子日持上人が手植えしたと伝えられている。慈眼寺のカヤはカヤとしては珍しい巨木で真福寺の大クスとともに市の天然記念物である。天満宮には大スギが2本あり、また神社の彫り物は、嶋村俊正作で見事なものである。